



山田 勉 議員 … 2件の一般質問

新幹線トンネル工事、今後の展開状況は

町長：鉄道・運輸機構と協議し、対応していく

山田 北部地区北10線10号地先農家の話によると、2016年8月

前後以降に一日70台程度の土砂搬出が始まると聞いており、通行による農作業の影響が懸念される。

また、長期間に渡る運行で町道の損傷が増加すると思われる、特に国道393号の西6号6線以北の路肩が下がって傷んでおり、早急な改修が必要である。見解を伺う。

そして、土砂搬出場所も町営牧場という話も聞いており、ザリガニやカラスガイも生息している話もある。今後の状況について伺う。

更に関連して、町道西3号、国道276号・393号間の通行量の増加に伴う農作業への更なる安全対策について伺う。

町長 北海道新幹線駅の

新函館北斗・札幌間については10本のトンネルが予定されており、先月末までに全体の4分の1が発注された状況である。

倶知安には、ニセコ町側の羊蹄トンネルと赤井

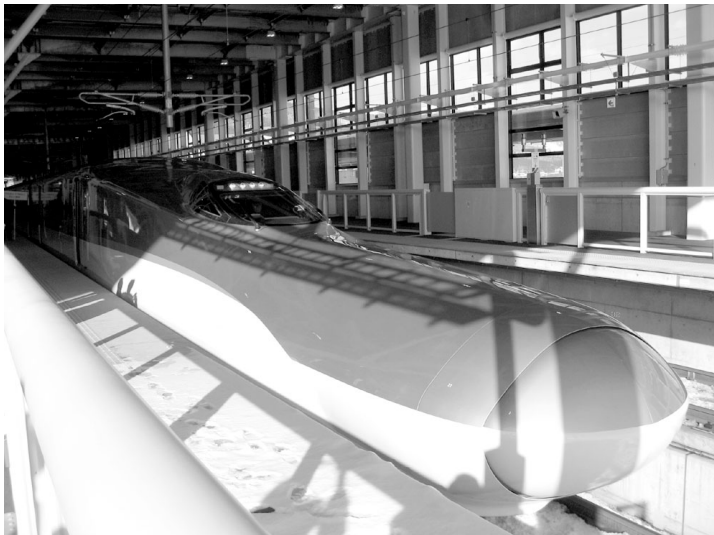
川村側の二ツ森トンネルが計画されており、二ツ森について北部高見地区の鹿子工区の入札が本日予定されている。

そして、来年1月28日に尾根内工区が入札予定となっている。契約後、各種申請等準備期間を経て半年から一年後を目途に工事着手と聞いており、着手前には沿線住民への説明会が開催される予定で、町からも沿道の農作業に対する配慮をお願いしている。長期間に渡っ

て使用する工事道路の事前改修必要箇所の補修は、鉄道・運輸機構と協議し対応していく。

また、平成20年国道393号が開通して以来、276号との連絡通路として町道西3号扶桑八幡線を通行する車両が増え、農作業への影響が最少減になるよう引き続き安全対策について検討していく。

土砂捨て場所については、花園牧場を候補地として鉄道・運輸機構に打



3月26日開業の北海道新幹線

診しており、平成27年7月から来年6月にかけて機構の方で環境調査を実施することになっている。

現在、一部希少種が出て沢に入りきらない話もあり、牧草地のかさ上げあるいは場所の確保が求められる、今後の動向について注視して対応していきたい。

TPP大筋合意に向けた農業分野の中長期的な取り組み

山田 ①観光産業が進展を続ける中どのよう

に連携を展開していくのか。

②GPSを利用した先進的な農業の取り組み。

③遊休農地対策の景観・緑肥事業の取り組み。

④畜産業推進の取り組み。

町長 ①今後は、収益性の高い農業者の支援も行い実需者の求める野菜の生産、流通システムづくり、やがては地場産農産物の加工販売等6次化へとつながればと考えている。観光地として

の強みを生かし、ホテルや飲食店で地元農産物ならではのメニューを提供してもらおう等PR活動を充実し、消費拡大と販路拡大につなげ魅力ある農業づくりを目指す。

②システムを活用できる環境整備について、関係機関とも協議の上検討していく。

③日本型直接支払制度を活用し、地域、資源、農地、水路、農道等の質的向上を図る共同活動を支援しており、今後の状況を見極めながら必要な取り組みについて検討していく。

④国の2015年度補正予算に盛り込まれているTPP政策大綱関連の攻めの対策として揚げられている畜産クラスター事業を活用し、地域の耕種農家と畜産農家との連携による循環型農業の確立に向け関係機関と共に取り組んでいく。